

第12号

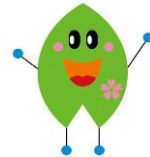
～夢と希望のわが母校～

【本校の教育目標】



# 光春小だより

- 元気な子
- 思いやる子
- 考える子



H28. 1. 8

練馬区立光が丘春の風小学校

校長 福田 純子

春風ちゃん

〒179-0072 練馬区光が丘7-2-1

Tel 3976-5861

Fax 5383-3592

## あけましておめでとうございます。

教職員一同、今年も精いっぱい子供たちのために力を尽くしてまいります。

本年も、どうかよろしくお願ひいたします。

校長 福田 純子

## 夢をえがく

12月9日(水)、本校に田辺陽子さんをお迎えて特別授業と講演会を行いました。田辺陽子さんは、女子柔道がオリンピック種目となったソウルから続けて3回のオリンピックに出場し、銅メダルと2つの銀メダルをとっています。

高学年の子供たちは、本物の銀メダルにさわらせてもらったり、副校長(柔道2段)相手の見事な技に目を丸くしたり、お話の内容を自分と重ねて考えたり…と、終始楽しく、かつ真剣に臨みました。そして、授業後の質問には、興味関心とレベルの高さがあらわれていて、田辺陽子さんも感心していらっしやいました。

田辺さんは、高校3年生の選択授業で初めて柔道にふれ、大学生から本格的に始めて日本女子柔道のトップに立ちました。幼少期からの天才や、特別な選手養成コース出身ではないのに、短い間に日本一になったのはなぜでしょう。私は、授業と講演から3つの要素を感じました。

まず「家族」です。柔道に進むことを大らかに受け止め、認めてくれたお父さん。柔道には賛成ではなかったけれど、体によいおいしい食事をいつも手作りであっさり用意してくれたお母さん。有名人になっても変わらずに「おかえり」と普通に迎えてくれた兄弟たち。そういう家族たちに支えられ、その家族への大きな感謝の気持ちが田辺さんの体や心を、ますます大きく育てたのだと思います。

次に「夢」をもつことです。田辺さんは小学校の卒業文集にオリンピックに出たいという夢を書きました。陸上競技やバレーボール等、色々なスポーツをやったけれど柔道なんて考えてもみなかった。でも、心のどこかにオリンピック

に出たいという夢が残っていて、本格的に柔道をやってみたら自分の特性によく合い、しかも、ちょうど女子柔道がオリンピック初種目になるという流れに乗ることができた、というお話でした。大きな夢をもつと、色々なチャンスに気付くことができる。努力を続けると一歩ずつ近づく。底に流れる「夢」が導いてくれるのです。

そして「精神力」。心の強さです。厳しい練習に耐える精神力は当たり前です。田辺さんは、金メダルをかけた決勝戦に2回臨みました。1回目、多くの人が田辺さんの勝ちと判断したにもかかわらず主審の判定に潔く従って銀メダルを受け取りました。一旦は引退したものの、最後の10分程を守りに入ってから判定負けした自分の悔いを晴らそうと、再度の挑戦に向かいました。そして臨んだ2回目の決勝戦は最後まで攻め、自分に納得がいく銀メダルを受け取ったのです。他人が見たら同じ銀メダルかもしれませんが、でも、田辺さんにとっては自分の悔いと判定負けの残念な銀メダルと、0から再出発して挑戦し納得して取った2回目の銀メダルの価値は違います。自分に悔いを残さないように挑戦し、果敢に立ち向かった精神力で取ったメダルは、色にかかわらず最高の生き方の証です。潔いスポーツマンシップと自分を高める挑戦を続ける心の強さがあればこそその偉業でした。

新年を迎え、光春小の子供たちはどんな夢をえがくのでしょうか。即物的な志向の強い現代だからこそ、見えない世界に遊ぶ時間を保障したいものです。まだ定まらなくてもいい。でも自由に夢をえがき、あこがれをもつ気持ちを大切に育ててやりたいと思っています。

## 【1月の行事等予定】

日	曜	行事等予定
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	冬季休業日終
8	金	全校朝会 安全指導 給食始 会議のため5時間授業 春小ひろば
9	土	4年2分の1成人式 2年モンゴル国際理解授業 委員会活動
10	日	
11	月	成人の日
12	火	計測4組
13	水	児童集会 計測5・6年 保護者会4組 春小ひろば
14	木	校内書き初め展始 計測3・4年 クラブ活動
15	金	6年社会科見学 月曜時間割 計測1・2年 春小ひろば
16	土	連合図工展始 4組餅つき会
17	日	
18	月	全校朝会 持久走練習始 職員会議のため水曜時程5時間授業 春小ひろば
19	火	
20	水	児童集会 避難訓練 4組音楽療法 春小ひろば
21	木	春の風委員会 連合図工展終
22	金	水曜時程 校内書き初め展終 春小ふれあいタイム 春小ひろば
23	土	連合書きぞめ展始
24	日	連合書きぞめ展終
25	月	全校朝会 ユニセフ募金(～27日) 春小ひろば
26	火	社会科見学3年 1年幼保との交流
27	水	児童集会 誕生日給食 春小ひろば
28	木	たてわり班活動 クラブ活動
29	金	春小ひろば
30	土	
31	日	

\*行事予定は変更になる場合があります。お手数ですが、必ず各学年だよりや学級だより等で再度、ご確認ください。

## <1月の生活目標>

### 礼儀正しくしよう

生活指導担当主幹 若井 理之  
三省堂の辞書、大辞林によると、『礼儀』とは、「社会の秩序を保ち、他人との交際を全うするために人としてふみ行う作法、礼節」とあります。年末・年始には、親戚など多くの方々と会う機会があったと思いますが、子供たちの様子は『礼儀正しい』ものだったでしょうか。日々の生活でも、「ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えたり、「失礼しました。」「ごめんなさい。」とお詫びの気持ちを伝えたりする場面が多くあります。そうした言葉や態度が自然に出てくるよう、家庭と学校が連携して指導を重ねていきましょう。

### <1月のあいさつ目標>

できるかな？

その場に合った言葉遣い

## 持久走大会に向けての練習が始まります。

来月の持久走大会に向けて、練習が始まります。毎日の健康観察をよろしく願います。

## 校内書き初め展

14日(木)～22日(金)

冬休み明けに書いた力作を、校内に展示します。年末からの学習の成果をぜひご覧ください。

## 連合図工展 16日～21日

連合書きぞめ展23日～24日

区内各校児童・生徒の作品が練馬区立美術館に展示されます。詳しくは、後日配布されるお手紙をご覧ください。

## 物を大切に扱っていますか。今一度振り返ってみましょう。

週末に家に持ち帰るはずの上履きが、靴箱に残っているのを見かけます。晴れの日なのに傘が置きっ放しの傘立てを見かけることもあります。どちらも家に大切に持ち帰りましょう。上履きには、大きくはっきり名前を書いて大切に使いましょう。何気ない気の緩みが、物を粗末にする雰囲気をつくってしまいます。

また、今年度になり、放課後に遊びに持って出た物がなくなってしまう事例が数件報告されています。大切なものは家から持ち出さないよう、学校では繰り返し指導しています。ご家庭でもご確認ください。



## 学芸会を終えて

### 1年担任 江森 由英

1年生は、初めての学芸会でした。初めの頃は、大きな声で台詞を言うことや、動きを入れることが難しく、少し心配をしていましたが、練習していくうちに、大きな声が出せるようになり、台詞がない時も動きを入れて舞台上で動いたり、コーラスで歌を歌ったりできるようになりました。家でも練習を見ていただけて、お陰様で自信をもって発表することができました。発表後、「緊張した」と言っている子が多かったのですが、翌週は、保育園の子供たちにも発表をしました。国語の教材を十分に堪能し、106人が成長できました。衣装や練習などご協力ありがとうございました。



### 2年担任 橋本 翔太

2年生にとって初めての学芸会。声の出し方や台詞がないときも動くことを意識して練習してきました。練習の成果を発揮できた学芸会当日、出番を終えた子供たちの充実した顔が印象的でした。子供たちは「緊張したけれど楽しかった。」「次の学芸会が楽しみ。」と振り返っていました。一人ひとりが自分らしさを出して、元気いっぱい「そんごくう」を皆で作り上げることができました。最後になりましたが、ご家庭での台本の音読や衣装のご協力ありがとうございました。



### 3年担任 藤原 元子

3年生は「半日村」に取り組みました。最初に絵本の読み聞かせをした時の子供たちの感想は「地味」。日が当たらずに寒く、作物がうまく育たない貧しい村を、子供たちが大人も巻き込んで一生懸命働いて山をくずして「一日村」にする、というお話です。日常生活とあまりにも違う状況に最初は戸惑いを隠せなかった子供たちですが、練習を重ねるうちにだんだん自分の役に入り込んでいきました。台詞回しや動きを自分たちで考えたり、歌い方を工夫したりして、全員が堂々と自信をもって本番に臨むことができました。みんなでひとつのものを作り上げる難しさと達成感をいっぱい味わえた学芸会でした。



### 4年担任 安居 寛和

一人一人がしっかりと声を出し、気持ちを込めて演技をしました。まるで、本当に「世界宝ものコンクール」の会場にいるような気持ちで。観に来られた保護者の方にも、演じている自分たちでも、楽しさを伝えたいという願いが届けられたようです。「本当の宝ものは何なのか。」これから子供たちの心に、この話が残ってくれればいいなと思います。



### 5年担任 鈴木 三千代

5年生は、「人間になりたいが猫」を演じました。自分たちでよりよい劇にするためにはどのように演じたり、歌ったりしたらよいのか考え、毎時間伝え合いの時間を設けました。素直に友達の意見を受け止め、自分の演技に生かし、協力して劇を作り上げていきました。また、演じるだけでなく裏方の仕事やピアノ伴奏などにも一生懸命取り組みました。心を一つにし、成果の花を咲かせた学芸会となりました。



### 6年担任 谷 由美子

体育館中に響き渡り、鳴りやまない大きな拍手。『コタと不思議な仲間たち』。2年間続けて劇団四季にお世話になった6年生が挑戦したのは、劇団四季のミュージカルです。どの学年よりも、練習のスタートが遅かったのですが、場面ごとに、創意工夫を重ね、台本にはない台詞や動作も考えて練習を重ねました。保護者鑑賞日では、多くの方が見守ってくださる中で、一人一人が自分の“最高”を出し切り、感動と興奮の舞台をお届けすることができたと思います。学芸会を通して学んだことを、残り少ない小学校生活に活かし春の風小学校の幕を下ろしてほしいと思います。



### 4組担任 信夫 一江

「かさじぞう」はみんながよく知っている昔話ですが、悪物が登場しないお話という特徴があります。みんないい人なのです。その心温まるお話を、4組の子供らしく明るく、そして、元気に演じさせたいと思って脚本を書きました。練習では、劇の完成に向かってみんなで力を合わせて取り組みました。背景画もみんなで描き、劇の世界を作り上げました。その結果、一人一人が輝く劇になりました。



### 楽しく球技大会 4組担任 辻 寛之

今年も4組は大泉小と光ノ小の子供と一緒にサッカー大会をおこないました。4組の保護者の方や1年生が授業の合間に応援に来てくれるなど、いいところを見せようとがんばりました。結果としては勝つことはできませんでしたが、4組の子供たちは協力してスポーツすることの楽しさを学ぶことができました。球技大会の最後には大人と子供の試合も行い、学校を越えて協力することができました。



### 「ごみ〜！へらすぞ〜！」 4年担任 大門 詩野

がすてな〜にと中央防波堤埋立処分場に、社会科見学に行ってきました。がすてな〜には、ゲームやクイズを通して、エネルギーの大切さや、節約方法を楽しく学習しました。埋立処分場では、社会科で学習した粗大ゴミの処分の様子や最終埋立地を、実際に目の前で見て、より理解を深めました。埋立地があと50年しかもたない現状を知り、みんなで埋立地に向けて「ごみ〜！へらすぞ〜！」と大きな声で決意を叫んできました。



### オリンピックメダリストに学ぶ 6年担任 若井 理之

12月9日(水)の3校時に、バルセロナオリンピック・アトランタオリンピックで銀メダルを獲得した田辺 陽子先生をお招きして、5・6年生を対象に出前授業が行われました。夢をあきらめないことや、オリンピックに出場するために努力したことなどを熱く子供たちに語ってくれました。また、授業の後半には、子供たち一人一人に銀メダルを触らせてくださったり、副校長先生を相手に投げ技を見せていただいたりと、子供だけではなく、大人も大興奮の45分間でした。



### むらさき幼稚園のみんな ようこそ！ 5年担任 鈴木三千代

幼稚園の子供たちを前に、「来年度の最上級生」の顔つきとなった5年生。「なかよくなるう会」では、学校案内や、じゃんけん列車などのゲームと一緒にする中で徐々にお互いの距離を縮めていきました。しっかり手をつないで案内する姿や、背を低くして話を聞いてあげる姿など5年生の頼もしい様子が見られました。また、「幼稚園生と仲良くなれて嬉しかった。」「喜んでもらって嬉しかった。」という感想に心が温まりました。



### 来年、春小で待ってるね♪ 1年担任 鈴木 智裕

1年生は保育園の園児との交流活動を行っています。11月には、春の風小学校に来てもらい、学芸会の演目「くじらぐも」を見てもらいました。先日は、第三保育園、第四保育園に子供たちが行き、園児と一緒に遊びました。(第五保育園も訪問予定でしたが、流感のため残念ながら延期になりました。)小学校では一番小さな学年でかわいがられる存在の1年生ですが、この日はお兄さん、お姉さんとして、とても張り切っていました。遊び道具を譲ってあげたり、一緒に工作を楽しんだり、優しくボールを投げてあげたりする姿がとても素敵でした。



### いいな〜音楽「マジカル ウィンターコンサート」 音楽専科 中村るい子

12月22日(火)3校時に音楽委員会による「マジカル ウィンターコンサート」が開催されました。今回は、1時間のロング集会で13組が参加しました。この日のために運営する音楽委員も入念に準備をしてきました。

コンサートの内容は、①みんなの歌②クリスマスソング③ここもあたたかホカホカソングという三部構成で、出演者は練習の成果を緊張しながらも精一杯演奏していました。スペシャル演奏として、先生方も「サンバ ブラジル」を演奏して会場を大いに盛り上げました。演奏する側も聴く側も“音楽の世界”を共有できた温かい素敵なコンサートとなりました。

